2025 年 7 月

＜広報の学校＞

ロジックとナラティブをつなぐ≪文章作成力≫を学ぶ

「共感をつくり出すロジカル・ライティング」講座のご案内

① 会場聴講（推奨）、または②オンライン ZOOM 配信（アーカイブ視聴付き）から選択できます

― 9月10日（水） 13：00～17：30 ―

広 報 の 学 校
（共同ピーアール総合研究所）

「書く、聴く、話す」というコミュニケーション力は、広報にとって必須の基礎スキルであることは言うまでもありません。とりわけメディアや社員といった主要なステークホルダーに対して、説得力と共感力のあるメッセージ文を状況に応じて発信していく技術が不可欠です。

しかし、学校教育でも企業教育でも、こうした文章作成法を学ぶ機会はほとんどありません。多くの広報パーソンが、日々、“見よう見まね”で、文章と格闘しているのが実情ではないでしょうか。

本講座は、正確で分かりやすく、「読みがい」と共感をもたらす文章を、論理的な発想とナラティブな話法に基づいて書くための、方法と技術をコンパクトなカリキュラムでご提供します。

また、ロジカルでナラティブ※なライティングの基本を複数の角度から学んだ上で、広報実務に即した具体的なテーマ（プレスリリースと社内報記事）を通して、より実践的なテクニックにも触れていただく構成です。

ぜひ、広報などメディア業務に携わる方のスキルアップの場として、ご参加下さいますようご案内申し上げます。

・※ 当総研では、受講効果を高める視点から原則として「会場受講」をお願いしておりますが、どうしても会場受講が難しい方は、例外的に配信での受講も可能です。「オンライン配信」でのご参加を選択された場合、当日の配信に加え、アーカイブ視聴期間中（１ケ月）は何度でも繰り返し視聴ができます。

※「ナラティブ」は一般的には物語・ストーリーのこと。近年、心理学や医学でコミュニケーションの共感性を高める要素として注目され、マネジメントの世界でも応用され始めている。

「共感をつくり出すロジカル・ライティング」 講座 実施概要

■対 象 者　◇ 広報担当者、IR・CSR、マーケティングなど社内外のコミュニケーション担当者
※経験年数は問いません。
◇ 広報及びコミュニケーション関連部門の管理者

■本講座の目的・特徴

【主な目的】　①論理的で共感力のある文章の作成技術を身に付ける
②ライティングを通じて発想力・構想力・対話力を高める
③部下や同僚の文章に対するディレクション力を高める

【主な特徴】　①コンパクトながらライティングの質を高める知識と技術の粋を伝える
②パラグラフの書き方・つなぎ方から主題の設定まで一貫した方法論

③後半は、プレスリリース・社内報など実務に即したテーマにも触れる

■講座概要　詳細はカリキュラムをご覧ください。

■日　　時　2025 年 9 月 10（水）　13:00～17:30

■会　　場　共同ピーアール セミナールーム（東京都中央区築地 1-13-1　銀座松竹スクエア 10 階）
オンラインでご参加の場合は、講座の 2 日前までに ZOOM URL をお知らせいたします。

■講　　師　菊地　史彦　（株式会社ケイズワーク元代表取締役、元東京経済大学大学院講師）

■受 講 料　45,000 円（資料代含む）　消費税別

■申込方法：　ウェブサイトページからお手続きください。

⇒ インターネット検索サイトで「共同ピーアール　セミナー」と検索し、申込フォームにお進み下さい。その際、①会場聴講、または　②オンライン配信　のどちらかを選択し明記願います。

アドレス：　https://www.kyodo-pr.co.jp/seminar

※お申込み受付け後に自動返信メールにてお申込確認情報が届きます。

※催行人数に満たない場合には、中止となることもございます。

■申込締切　9 月 3 日（水）　17 時必着

■支払方法　請求書は PDF でお送りいたします。記載のお支払い期限までにお振込みください。

※郵送をご希望の場合には、その旨記載ください。

«振込先» みずほ銀行（0001）　八重洲口支店(026)
普通預金　口座番号：２６７７９８２
口座名　：　共同ピーアール株式会社　セミナー口（グチ）

●参加方法は 2 つあります
① 「会場聴講」の方：講座開始 10 分前にセミナールームで受付をお済ませください。
② 「オンライン配信」の方：当日会場に来られずとも、遠隔で講座を聴講できます。
ZOOM に登録いただきご参加ください。
当日見逃した方は後日、アーカイブ視聴期間（１ケ月）中であれば視聴可能です。
繰り返し受講されたい方もご活用ください。アーカイブ視聴期間は別途ご連絡いたします。

【お問合わせ先】メールでお願いいたします。担当者が一両日中にご返信をいたします。
seminar@kyodo-pr.co.jp「広報の学校」事務局
〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1　銀座松竹スクエア 10F

「共感をつくり出すロジカル・ライティング」講座　カリキュラム

概括	時間	テーマタイトル	内 容
Part1 どうやって 考えるのか	13:00～13:15	1-1　ロジックとナラティブ	・二つの思考――論理的思考＋物語的思考 ・ロジック主導とナラティブ活用の文章作成
	13:15～13:30	1-2　ナラティブの基礎知識	・「プロジェクトX」に物語の構造を見る ・ストーリーとプロットの関係と違い
	13:30～13:45	1-3　ロジックの基礎知識	・論理力と思考力は何がどう違うのか？ ・狭義のロジックと広義のロジックを知る
Part2 どうやって 書くのか	13:45～14:30	2-1　パラグラフの書き方とつなぎ方	・パラグラフの基本構造と重要なルール ・「構成接続」と「展開接続」を使い分ける
	14:30～14:40	休　憩	
Part2 どうやって 書くのか	14:40～15:05	2-2　物語から発想する	・プロットを使って物語を発想する ・オフィスの英雄神話を書いてみる
	15:05～15:25	2-3　主題を探索する	・「客題」をいかに「主題」に転化するか ・「主題」とは主張であり仮説である、
	15:25～16:15	2-4　説得する文章の書き方	・基本型は推測・帰納・問題解決 ・「説得する文章」のバリエーションと特徴
	16:15～16:25	休　憩	
Part2 どうやって 書くのか	16:25～16:35	2-5　ナラティブの効果と脅威	・ナラティブの両面性――脅威と可能性 ・共につくる新しい物語――ナラティブと対話
Part3 効果的な 「広報文」とは	16:35～16:55	3-1 採り上げられるプレスリリース	・記者の目を引き記事を書かせるには ・プレスリリースの要点（ロジックとプロット）
	16:55～17:15	3-2 共感と行動を生み出す社内報	・考えさせ動機づける記事を書くには ・経営メッセージの要点（ロジックとプロット）
	17:15～17:30	3-3 ライティングプロセスとまとめ	・ライティング・プロセスの品質を高めよう ・論理と物語で「読みがい」をつくり出す

＜講師プロフィール＞

菊地　史彦
株式会社ケイズワーク元代表取締役、元東京経済大学大学院講師

慶應義塾大学卒業。筑摩書房、編集工学研究所勤務を経て、1999 年、ケイズワークを設立し、代表取締役に就任。企業コミュニケーション、ブランディング、ナレッジマネジメントを主要分野にコンサルティングやメディア制作業務などを行ってきた。

2003 年に企業変革を促進するインナーコミュニケーションのコンセプト”Change Communication”を提唱し、翌年から当社メールマガジン　K's Letter に「コーポレートビジョンを訪ね歩いて」や「コミュニケーション思想の先駆者たち」を連載。なお、2000 年には株式会社ビジネスカフェジャパン、2006 年には株式会社ラジオカフェ設立に参加。
2016～2023 年、東京経済大学大学院（コミュニケーション研究科）講師。

企業研修の分野では、ケイズワーク創業以来、情報編集・提案営業・プレゼンテーションなどのテーマで、研修講師を務めてきたが、2010　年、「ロジカル・ライティング」のカリキュラムを新たに構築し、製造業・流通業・サービス業など多分野の企業で研修を行ってきた。共同ピーアール「広報の学校」では、毎春・秋に「ロジカル・ライティング基礎講座」と「リライトと取材・文章編集講座」の両講座を担当している。
著書：『逆格差論、名護市長　岸本建男と象設計集団が遺したもの』（論創社、2025 年）『沖縄の岸辺へ』（作品社、2022　年）、『「象徴」のいる国で』（作品社、2020　年）、『「若者」の時代』（トランスビュー　2015　年）、『「幸せ」の戦後史』（トランスビュー　2013 年）